

第3回 江戸川区移動等円滑化促進方針策定協議会 議事要旨

開催日時

令和4年5月26日(木) 10時30分～12時

委員出席者

19名

移動等円滑化促進候補地区について事務局・コンサルタントより説明

【主な意見】

- ・移動等円滑化促進地区以外でも、人命に関わる部分についてはバリアフリー対策が必要な場所をしっかりと洗い出し、整備していく必要があると思う。
- ・今回、促進地区に指定しない地区についても、マスタープラン見直しの際に、順次整備は進めていくことを区民に伝えるべきである。
- ・移動等円滑化促進地区の設定の考え方としては、区全体でバリアフリーを推進していくため、独自に区内全域を「推進エリア」とする。促進地区については、基礎データ等を基に優先順位を決めて、区内数か所の駅周辺を、促進地区に設定する。理由としては、区内全域を推進エリアとすることで、「区全体でバリアフリーを促進していく」という強いメッセージ性を出しつつ、モデルとなる地区(促進地区)をはっきりさせることで、区民から見てもわかりやすい内容になると考える。

まち歩き点検の実施について事務局・コンサルタントより説明

【主な意見】

- ・参加者については、専門的知見のある方のみではなく、障害がある当事者も参加した方が良いのではないかなと思う。
- ・まち点検を実施する際は、歩道の点検と合わせて、お店の方の意見を聞くことが必要だと思う。お店の入口の段差解消をする際、経済面等を理由に実施できないお店もあると思うので、区の補助制度の整備を進めていくことも大事だと考える。
- ・新店舗開店により、以前は段差がなかった場所に段差ができている場所もある。区がバリアフリーに関するガイドライン等を作成し、発信していくことが大切だと考える。
- ・地域にユニバーサルデザインのトイレがどれくらいあるのかも、まち点検の際に確認する必要がある。
- ・車いす対応のトイレが駅周辺のどこにあるか、明確にわかると良い。
- ・バリアフリーマップは、Bmaps(ビーマップ)等、民間のアプリと連携し、誰でも見られるように、データ化した方が良い。